

2027年4月入学者用

大阪教育大学

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

特別支援教育特別専攻科

SPECIAL NEEDS EDUCATION

特別支援教育 特別専攻科

発達障がいをはじめ
特別なニーズのある子どもを理解し
支援する高い実践力を備えた
人材を育成



■ 目的

特別支援教育特別専攻科は、特別支援教育の充実に資するために発達障がいをはじめとする幅広い障がい種に関する専門教育を行い、実践的な指導力のある教員を養成することを目的としています。特別支援教育の現場では、子どもたちの障がいの多様化、重度化、重複化が進んでいます。また、通常の学校(通常の学級)においても、障がいのある子どもへの理解と支援が求められています。本専攻科では、インクルーシブ教育システム構築の観点から、子どもの個々の能力や個性、ニーズに応じた高度な教育支援を実践できる教員の育成をめざします。

■ 概要・特色

特別支援教育特別専攻科の入学定員は30人となっています。修業年限は1年間で、出願資格である幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教諭の普通免許状のいずれかを有する方は特別支援学校教諭一種免許状を取得することが可能です。本専攻科では通常の講義に加えて、教育現場における実習経験の機会を豊富に用意し、実践的な知識・技能の習得を目指します。過去に大学等で特別支援教育を専門的に学んだ経験のない方も対象としていること、現職教員の方々と共に学ぶことも本専攻科の特色です。

● 令和8年度 特別支援教育特別専攻科 入学定員・入試結果一覧 令和8年4月1日現在

区分	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者
特別支援教育特別専攻科	30人	19人	18人	18人	15人

主な開講科目(必修科目)

特別支援教育総論、知的障害者の心理・生理・病理、肢体不自由者の心理・生理・病理、病弱者の心理・生理・病理、発達障害教育、発達障害指導論、聴覚障害教育、知的障害教育、知的障害指導論、肢体不自由教育、肢体不自由指導論、病弱教育、障害者の心理・生理・病理、視覚障害教育、重複障害教育など

主な授業内容「発達障害指導論」

注意欠如多動性障がい、学習障がい、自閉症スペクトラム障がいなどの発達障がいのある子どもの教育について、事例をまじえながら個々の特性に応じた指導法を具体的に学びます。

※授業名称は令和8年度開講のものです。

● 特別支援教育特別専攻科 取得可能な免許状

免許状の種類

特別支援学校教諭一種免許状(領域:「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」)

● 令和8年度 担当教員

- [教授] 坂井 行男・大内田 裕・西山 健・早野 眞美・平賀 健太郎
- [准教授] 今枝 史雄・奈良 里紗・正井 隆晶・山崎 愛子 [講師] 茂野 仁美・湯浅 哲也 [特任講師] 五島 脩

【 特別支援教育特別専攻科修了者の進路 】

(単位:人)

	就 職 者										進 学	そ の 他	合 計	合計のうち現職教員
	教 員							保 育 所	企 業	公 務 員 (教員除く)				
	公 立 学 校					公 立 学 校 以 外 の 教 員	小 計							
	小 学 校	義 務 教 育 学 校	中 学 校	高 等 学 校	特 別 支 援 学 校 幼 稚 園・									
令和3年度修了者 (R4.5.1データ)	8(0)	0(0)	0(0)	0(0)	12(7)	2(2)	22(9)	0	2	1	1	1	27(9)	8
令和4年度修了者 (R5.5.1データ)	5(0)	0(0)	1(1)	0(0)	12(5)	1(0)	19(6)	0	3	0	0	0	22(6)	2
令和5年度修了者 (R6.5.1データ)	6(1)	0(0)	4(1)	1(1)	9(3)	1(0)	21(6)	0	2	0	2	2	27(6)	9
令和6年度修了者 (R7.5.1データ)	5(0)	1(0)	4(1)	1(0)	6(1)	0(0)	17(2)	0	2	1	1	2	23(2)	7
令和7年度修了者 (R8.5.1データ)	4(1)	0(0)	4(0)	1(1)	4(1)	1(1)	14(4)	0	1	0	2	1	18(4)	2

※()内は、期限付講師等で内数

■ 入学料 および 授業料

令和8年度入学	入学料	入学時諸費用(大阪教育 大学校友会)	授業料(年額)
特別支援教育特別専攻科	58,400円	40,000円	273,900円

※「大阪教育大学校友会」は、教育研究活動、大学行事、課外活動、福利厚生、奨学金給付及び就職への支援など様々な学生支援事業を行うとともに、在学生を含む卒業生、修了生の同窓会活動への支援を行う組織です。入学時のみ必要な費用です。
※上記記載の金額は、令和8年度入学者の金額であり、令和9年度入学については、変更される場合があります。
※在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
※このほか、テキスト代や実習等の経費、課外活動等の経費は別途必要となる場合があります。

■ 免除制度(一般選考)

経済的理由により入学料・授業料の納付が困難であり、かつ、成績優秀と認められる方を対象に選考のうえ、入学料・授業料の全額又は半額が免除あるいは徴収が猶予されます。

● (参考) 令和7年度授業料免除実績

区分	免除率	前期		後期		免除額
		申請者数	免除者数	申請者数	免除者数	
専攻科	全額免除	2人	1人	2人	1人	273,900円
	半額免除		1人		1人	136,950円

■ 障がい学生修学支援ルーム

障がい学生修学支援ルームでは、障がい等のある学生が他の学生と等しく教育を受けることができるよう、各種の修学支援に取り組んでいます。また、入学後に修学上の配慮を希望する方の事前相談にも応じています。

問合せ先

- 柏原キャンパス(C6棟2階) **072-978-3479** (開室時間 8:30~17:15)
- 天王寺キャンパス(中央館204) **06-6775-6657** (開室時間 13:00~21:30)
- e-mail sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp (共通)

教員の声



准教授

奈良 里紗

我が国では、多様な場で多様な学びを提供することが求められています。昨今の特別支援教育の現場では、障がいの重度重複化に伴い、子ども一人ひとりに応じた丁寧な指導がますます必要とされています。そのためには、子どもの特性を理解し、実践的な指導ができる専門性の高い教員の育成が不可欠です。

本学の特別支援教育特別専攻科では、1年間で特別支援学校教諭一種免許状（知的障害・肢体不自由・病弱）を取得することができます。短期間で密度の濃い学びを通じて、特別支援教育の専門性を高めることが可能です。

本専攻科には、学部を卒業したばかりの方から、現場で活躍する現職教員まで、多様な背景を持つ学生が全国から集まってきました。年齢や経験、立場の異なる仲間とともに学ぶことで、多角的な視点を得られることも大きな魅力の一つです。

さらに、多様な障害領域（視覚・聴覚・知的・

肢体・病弱・発達障害等）の専門教員が在籍しており、豊富な研究実績と現場経験を活かした質の高い教育が提供されています。講義や演習では、教育課程の編成、教材研究、学習指導案の作成など、現場で即戦力となる力を身につけることができます。

教員採用試験に向けたサポート体制も整っており、個別の相談にも丁寧に対応しています。また、本学は障がいのある学生に対する支援体制が整っており、合理的配慮のもとで安心して学べる環境が整っています。私自身も視覚と聴覚に障がいのある教員として、授業やゼミでの指導教員などを通して皆さんの学びをサポートしています。

学び合い、支え合いながら特別支援教育の専門性を磨きたいと考える皆さんにとって、本専攻科はきっと新たな一歩となるはず。ぜひこの学びの場で、志を同じくする仲間と出会い、未来の教育をともに創っていきましょう。

>>> 特別支援教育 特別専攻科 在学生の声

入学を決めたきっかけ

音楽表現を専攻する中で、音楽療法の授業を通じ、個々の特性に合わせた支援の重要性を実感しました。音楽の専門性を教育現場でどう活かせるか、また特別支援教育の基礎をより体系的に学び直し、教育者としての幅を広げたいと強く感じたことが、本専攻科への進学を志したきっかけです。

入試対策

特別支援教育の基本用語や現在の教育課題について、参考書や最新の答申を読み込み整理しました。対策では、自分の考えを論理的に構成する練習を重ねました。面接に向けては、学部時代の学びを専攻科でどう発展させたいか、具体的なビジョンを持って自分の言葉で伝えられるよう準備しました。

入学して良かったこと

多様な専門性を持つ仲間との交流です。異なる専攻出身の学生と共に学ぶことで、自分にはなかった視点から子どもへの支援を考えられるようになりました。また、専門に特化した講義は密度が高く、現場ですぐに役立つ実践的な知識や技術を、経験豊かな先生方から深く学べる環境に非常に満足しています。

入学前にすれば良かったこと

学部の講義で得た資料を、自分なりに整理・復習しておけば良かったです。専攻科の学びは基礎の上に積み上がるため、土台を固めておくことにより理解がスムーズになります。また、入学後は専門の勉強に集中するため、今のうちに趣味や特技の練習時間をしっかり確保しておくことも大切だと感じています。

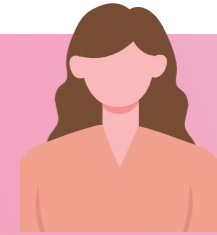
受験生へのメッセージ

あなたの「学びたい」情熱を応援しています。



学部卒

大谷 紗輝



現職

泉 利枝子

西宮市立学文中学校

入学を決めたきっかけ

中学校、特別支援学校での勤務において、特別支援教育に関わってきました。近年、子どもたちが多様化しており、教員としてもそれに対応すべく専門性、力量が求められていると実感し、学びを深めたいという思いから、教員長期派遣研修事業に参加し、入学することを決めました。

入試対策

願書類の提出締切までタイトなスケジュールでした。研究計画書の書き方を調べたり、過去問を確認したうえで、昨今の特別支援教育の動向をチェックし、それについての小論文を書く練習をしたり、面接に向けては、日々の教育実践を振り返りながら、自分の考えをまとめたりしました。

入学して良かったこと

今まで特別支援教育に関わってきたものの、知識が十分ではなかったのが、専門的な知識・スキルなどを学ぶことに専念できるとも貴重な機会を頂けたことをありがたく思います。また、先生方にも丁寧に指導して頂き、充実した学生生活を送っています。

入学前にすれば良かったこと

日々の業務があるので入学準備も難しいと思いますが、実践の中で分からないこと、疑問に思うことなどについて調べて、特別支援に関する知識を深めておくことよと思います。

受験生へのメッセージ

がんばってください。

>>> 特別支援教育 特別専攻科 授業スケジュール

前期の授業スケジュール		月	火	水	木	金
1限					発達障害指導論	
2限				視覚障害教育	聴覚障害教育	
3限	肢体不自由教育				発達障害教育	特別支援教育総論
4限	病弱教育				聴覚障害心理	
5限	重複障害教育				知的障害教育	

後期の授業スケジュール		月	火	水	木	金
1限						
2限			病弱者の心理・生理・病理			
3限						
4限					障害者の心理・生理・病理	特別支援教育ゼミナール
5限						

集中講義	聴覚音声生理・病理、肢体不自由者の心理・生理・病理、知的障害者の心理・生理・病理、ユニバーサルデザイン授業論、聴覚障害指導論、知的障害指導論、肢体不自由指導論、特別支援教育実践演習
------	--

※上記の授業スケジュールは、令和8年度入学用カリキュラムによる一例であり、入学後にこのような時間割になることを約束するものではありません。



2022年3月専攻科修了

太田 泰史

草津市立老上西小学校
通級指導教室 担当

特別支援教育特別専攻科で 最先端の特別支援教育を学び、 みなさん自身を変えてみませんか？

通常学校では、年々ADHDやLD、ASDなど発達障がいが増え、不登校や教室不応答などの二次障がいも増加しています。私はその状況を「何とかしたい」という思いで、本学の特別専攻科で一年間、現職教員派遣という形で学びました。

一年間の学びを終えて、自分の教育観や指導観だけでなく人生観までも180度変わったと思います。私は発達障がいコースで学んだのですが、WISC-IVやK-ABCなどのアセスメント法や、通常学級での応用行動分析に基づく支援方法など、現場ですぐに使える最先端の知識を学ぶことができました。その結果、特別専攻科で学んだことを現場で面白く活かすことができている。

また、特別専攻科の先生方は大変熱心なため、指定の講義やゼミだけでなく、個人的な指導も対面とオンラインとを学生の事情に合わせて併用しながら実施していただきました。どんな質問に対しても非常に丁寧に回答していただけます。

そして現場に戻った現在も、交流させていただいています。学部から進学される方等は特別支援学校の免許状を取得するだけでなく、教員となった後どの校種でも、本学での特別専攻科の知識が活かされると思います。ぜひ、特別専攻科を受験されることをお勧めします！

受験生へのメッセージ

学生の方、社会人の方、現職の方など、人生を変える素敵な経験を味わうために、特別専攻科をお勧めします！



2022年3月専攻科修了

林 有咲

伊丹市立
伊丹特別支援学校 教諭

特別支援教育特別専攻科に 進学して

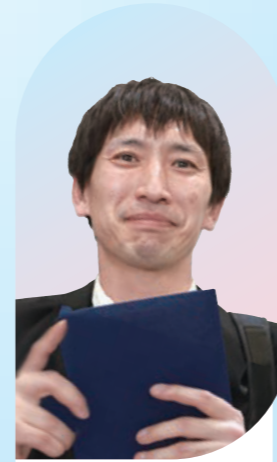
大学2年生の時に学び始めた手話を通して特別支援教育に関心をもち、特別専攻科に進学することを決めました。今振り返ると、1年という短い期間ではありましたが、私にとっては非常に充実した1年を送ることができたように思います。

講義では、それぞれの障がいに関する専門的な学びを得ることができたと共に、グループワークを通して他の学生と意見交換をすることでより考えを深めることができました。また、専攻科には現職の先生方や障がいのある子どもに関わる仕事をしていらっしゃる方も多く在籍しており、学校現場についてお話を聞いたり、様々な考え方・見方に触れたりすることができる貴重な機会が多くありました。

特別専攻科を通して、特別支援教育に関する豊かな学びや、新たな出会いを多くもつことができ、進学して良かったと改めて感じます。

受験生へのメッセージ

皆さんも特別専攻科に入って
充実した1年を過ごしましょう！



2025年3月専攻科修了

田中 大樹

尼崎市立園田南小学校
教諭

特別支援教育を学べるという 貴重な機会が1年間

私が特別専攻科で学んだ動機は、特別支援教育の最新の動向や理論を学ぶためでした。現職教員派遣という制度を利用して、特別支援教育に関する知識や実践力を深く学ぶことができました。

1年間とは思えないほどの濃い学びの時間の中で、困難がある子どもたちに対応する方法を知ることができ、とても贅沢な時間だったと感じています。

講義の中では指導してくださる先生方の教育や子どもたちに関する思いなども知ることができ、有意義な時間となりました。教育現場に戻って感じることは、特別支援教育は全ての子どもたちに有効な手立てであるということです。そのきっかけや考え方を特別専攻科で学ぶことができたのではないかと感じています。また、日々学ぶ仲間と過ごしていく中で様々な地域の動向や個人の思いを知ることができたことも、かけがえのない財産になっています。

特別支援教育について学びたいという方、ぜひ特別専攻科で学んでみませんか？

受験生へのメッセージ

特別支援教育を学びたいという思いを大切に！



2026年3月専攻科修了

八田 真由美

洲本市立鮎原小学校
教諭

特別支援教育を学ぶ 充実した1年間を過ごしませんか？

長年小学校に勤務し、特別支援学級担任や通級指導教室担当、特別支援教育コーディネーターとして、多くの子どもたちや保護者と関わってきました。実践を重ねる中で、「どの子どもも安心して楽しく学校生活を送れるようにしたい」という思いが強くなり、1年間の現職教員派遣で学ぶことを決めました。

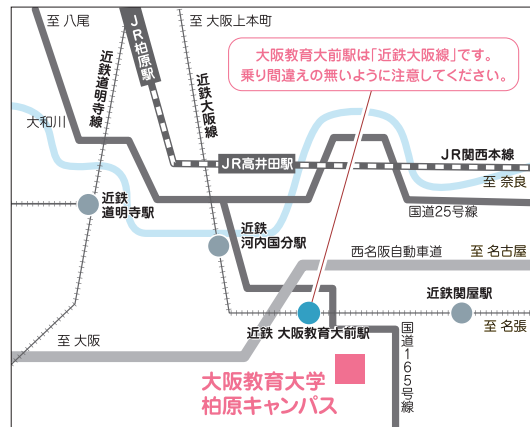
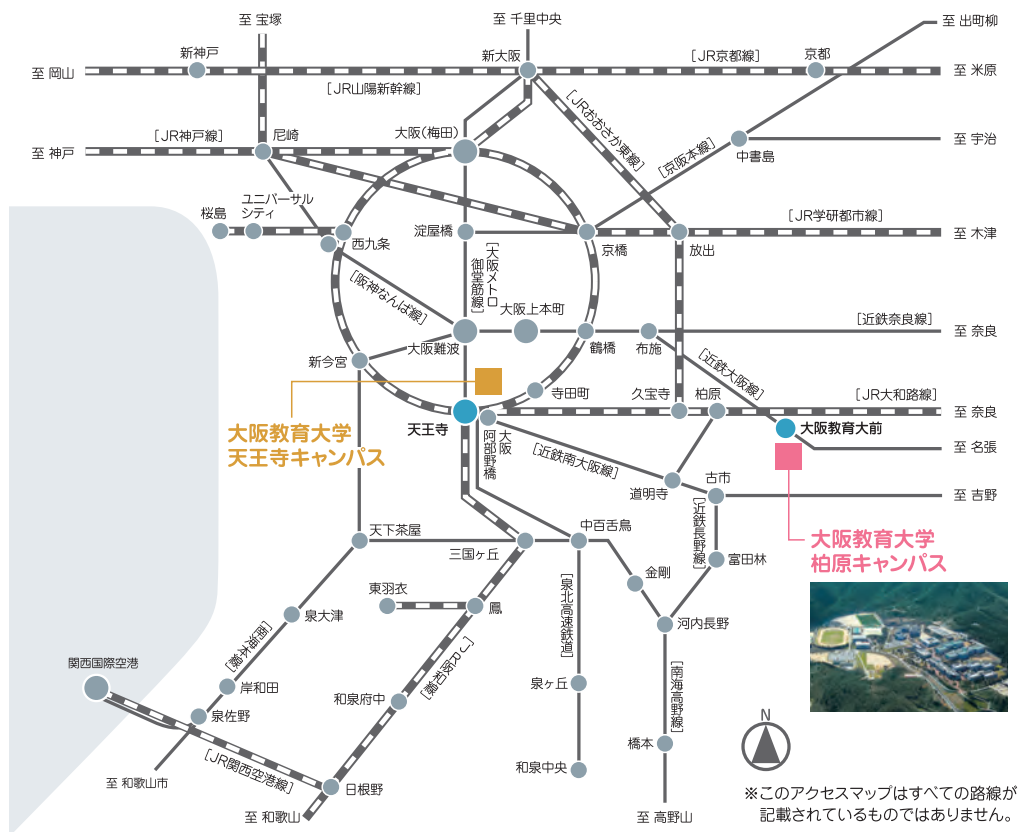
特別専攻科での1年間は、知識を深めるだけでなく、多くの出会いに支えられたかけがえのない時間でした。支援学校や福祉施設の見学、教育実習を通して、子どもたちの卒業後の進路や支援・指導等具体的に考えることができました。また、大学の授業では様々な障害について専門的に学び、先生方のご指導のもと、理論と実践の両面から理解を深めることができました。

さらに、他自治体の現職の先生方や学生と共に学び、交流できたことも大きな財産です。特別支援教育を学びたい方は、ぜひ一歩踏み出してみてください。きっと多くの学びと出会いが待っています。

受験生へのメッセージ

特別支援教育に関する多くの学びと
出会いが待っています！

ACCESS



大阪上本町駅から大阪教育大前駅まで近鉄電車で**23分**
 JR大阪環状線鶴橋駅から大阪教育大前駅までなら**19分**



国立大学法人
大阪教育大学

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/>

大阪教育大学 学務部入試課

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1 TEL 072-978-3323